

アジェンダ21すいた エコレター 7月号

皆さんこんにちは。エコレター編集部です。
コロナの再流行とともに、暑い日々が続いています。
みなさんも大変だとは思いますが、ともに頑張りましょう！
自宅時間が増える中、新たな趣味を見つけてみてはいかがでしょうか？
今月もよろしくお願いいたします。

もくじ

- 令和4年度（2022年度）アジェンダ21すいた定時総会報告 …2
- アジェンダ21すいた 環境月間市役所ロビー展示 …3
- COP26 報告会「気候危機！ 未来を決めるのは今」 …4
- 片山浄水所見学記・すいた食べきり運動 …5
- Go Green プロジェクト …6
- 良永ゼミ 本紹介 …7
- 各種募集・イベント案内 …8

令和4年度(2022年度) アジェンダ21すいた 定時総会 報告

いつもアジェンダ21すいたの活動にご支援、ご協力を賜りまして、大変ありがとうございます。

「with コロナ」の困難な状況下でも、多くの市民の皆様、団体様、事業者様のご協力を頂きましたことに、こころより感謝申し上げます。

厳しい天災人災が続くとはいえ、地球温暖化防止や海洋プラスチック問題、食ロス問題など、国際合意や国内の環境政策の長期目標などが明確に打ち出されている今、アジェンダ21すいたは柔軟に状況に応じつつ、たとえ小さな取り組みであったとしても私たちの行動を止めることなく、よりよい未来に向け、人と人、組織と組織を繋ぎ、新たな活動に踏み出しつつ、活動を重ねて参りたいと思います。

アジェンダ21すいたは、吹田が環境先進都市としてさらに発展していくために寄与していく大きな使命を担っております。2022年度も皆様方のお力添えを、何卒よろしくお願い申し上げます。

*三輪代表あいさつから抜粋

新規事業など紹介



- 地域通貨・ポイント制度などの検討/NATS クールアースウィークの検討(温暖化フラッグシッププロジェクト事業)
- 手前取りキャンペーンの検討/B級食材の販売に関する調査研究(食品ロスフラッグシッププロジェクト事業)
- ホームページの改修/オンライン環境の整備(全体事業)
- 暮らしのCO2ダイエットの小学校への展開(エネルギー部会事業)
- 海洋プラスチック汚染を考える(資源部会事業)
- 自然観察会(自然部会事業)



定時総会(書面開催)の結果報告

正会員数48名のうち、出席会員数(「決議投票書」提出数)35名となり、正会員の2分の1以上の出席があるため、定時総会は成立しました。

「第1号議案 事業活動報告書」「第2号議案 収支決算書」「第3号議案 事業活動計画」「第4号議案 収支予算」について、いずれも賛成多数により、原案通りに可決しました。

*総会結果及び令和4年度(2022年度)事業計画等については、アジェンダ21すいたのホームページをご覧ください。

URL : <http://ag21suita.org/?p=2963>



令和4年度定時
総会の開催結果

【アジェンダ21すいた 池淵 佐知子】

アジェンダ21 すいた 環境月間市役所ロビー展示

1972年6月にストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念し、国連は6月5日を「世界環境デー」と定めています。

日本では環境省の提唱により広く環境の保全についての理解を深め、積極的に環境保全活動を行う意欲を高めるため世界環境デーを含む6月の1か月間を「環境月間」としています。

この環境月間中の6月8日～6月14日に
吹田市役所本庁舎の正面玄関ロビーで展示を行いました。



<フラッグシッププロジェクト(FSP)>

1) 温暖化防止 FSP

地球温暖化防止に向けた行動を広げるための週間「すいたクールアースウィーク」期間中に多くの企業や団体、大学、公共施設が取り組んだイベントの紹介、去年はWEB開催となったが今年は現地開催される、月明かりの中で楽しむムーンライトコンサートを紹介しました。

2) 食品ロス FSP

まだ食べられるのに捨てられている食品ロスをなくすため、残さず食べる「すいた食べきり運動 おいしく全部ペロリンコ！」や、購入時すぐに食べるものは手前からとる、食品ロス防止のために私たちができる行動について紹介しました。

<エネルギー部会>

再生可能エネルギーで地球温暖化防止に寄与することができ、災害時の非常電源としても活用可能な小型の太陽電池パネルを使い、自分専用の発電所を組み立て設置することができる「じぶん発電所」の紹介、発電所つくりの入門講座の様子、並びにCOP26に参加した学生代表の「気候危機！未来を決めるのは今」と題した報告会について展示しました。

<資源部会>

マイカップ・マイボトル持参の勧めと対応店舗を紹介するマップを展示しました。

<自然部会>

特定外来植物の駆除、生物多様性の大切さを説明したパンフレットを掲示しました。

<NPO 法人すいた市民環境会議(団体会員)>

新しく作成した「レッドリストすいた2021」について紹介しました。

1 週間の短い期間でしたがこのパネル展示が、市役所を訪れた市民のみなさまが環境問題への取り組みの大切さを理解し、行動への契機となることを願います。

【自然部会 藤田 和則】

COP26 報告 「気候危機！ 未来を決めるのは今」を開催

5月29日（日）に千里山コミュニティセンターにおいて、昨年11月に英国グラスゴーで開催された、[COP26（国連気候変動枠組み条約第26回締約国会議）](#)の報告会が開催されました。

「COP26に参加して～欧州の市民運動に学ぶ～」と題して **Fridays for Future Osaka** 代表であり学生である **小林誠道さん**より 現場の雰囲気など、参加した若者ならではの視点からの報告がされました。



始めに、気候変動問題がいかに**社会問題**となっていたのかの話がありました。欧州でも、**旱魃大洪水**等かつて経験したことのない災害に見舞われ、これは「現象」ではなく**取り組まなくてはならない「問題」**だと捉えられるようになったとの事。**メディア**でも毎日朝のワイドショーで1時間ほど専門家のコメント付きの気候変動に関するニュースが流され、報道の量も、日本と違いとても多いそうです。

【小林さんからのメッセージ】

気候危機は世界規模の問題であり、一人一人の取り組みがより一層重要になるとともに、それを社会全体で「協同」していくことが必須です。

グラスゴーで見た欧州の気候運動は「気候危機を取り組むべき社会課題だと捉えること」を訴えていました。

大きな目的のもとに団結すること。日本でも、日本のやり方できっと成し遂げられると信じています。危機を目の前に、今自分に何ができるのか。皆さんも一度考えてみて下さい。

（F F F Osaka 小林誠道）

又気候変動問題は「**マルチイシュー**」であり、様々な課題に取り組む**多様な**人々がいるが「気候変動問題の解決」という一点は欧州では皆の**共通の課題**となっているとの事。そして、欧州では気候変動問題は「**命の問題**」なんだと捉えられ、若者達が「未来を奪わないで」と訴えているとの事。そして、日本で大切なのは「**総力を結集する事**」だと感じたそうです。

【カーボンニュートラルに向けた行動宣言】

今、この地球は温暖化の進行により異常な事態に直面しているといっても過言ではありません。

2021年11月英国グラスゴーで開催された**COP26**においても、「気温上昇を抑えるため、この10年が決定的に重要」とされ、**世界が1.5℃を目指して取り組む**ことが目標となりました。

しかし、これまでに提出された各国の目標では1.5℃目標を達成することはできないことも明らかにされ、2022年末に予定されているCOP27には、さらに強化された削減目標を持ち寄ることが必要とされています。

私たちは、今こそこの気候危機を乗り越えるため、広く市民をはじめ関係者（団体）との**連携を深め**、一人一人が自らの**ライフスタイルを見直す**と共に**再生可能エネルギーの普及を加速させる**等の更なる対策の強化が不可欠です。

私たちは、2050年カーボンニュートラルに実現に向けて、今後も行動することを宣言します。

2022年5月29日アジェンダ21 すいたエネルギー部会

【エネルギー部会 井上道代】

もっと水道水を飲もう！！ 片山浄水所見学記

ペットボトルで水を買う人が増えています。水道水を飲む人が増えるとプラスチックのごみが減らせる。それなら吹田市の水道水が安全でおいしいことを確かめようと、昨年12月にリニューアルした片山浄水所を6月9日、資源部会で見学に訪れました。ここでは地下水を浄水処理しています。従来の砂ろ過方式から膜ろ過方式に変えたことで、原水の99.5%を飲み水に処理できるようになりました。吹田市では給水機の設置も進んでいます。「もっと水道水を飲もう」とアピールして行きます。以下は部会員の感想です。【資源部会 水川晶子】



膜浸漬槽で膜ろ過を行う

片山浄水所が、地震や災害時(停電時)でも、安定して水を作り配水できるように、考えて作られている事がよくわかりました。災害によって、たとえ下水施設が使えなくても、取水から浄水・排水処理まで浄水所内で「自己完結」できるので、とまらず水を作り続けられるとの事。心強いなあと思いました。自家発電設備も備え、これから太陽光発電も導入していくとの事。太陽光発電は、施設の使用電力の10%位の予定との事でしたが、もっとたくさん賄うことができれば、停電時も安心だろうなあ、と思いました。

【資源部会 井上道代】

災害時給水ができる蛇口を外壁に設置



施設の老朽化により新施設の建築が必要になり、2007年から2021年までの完成の道のりは長く、大変だったと思います。新しい建物の建築工事をしながら、安全な水を市民に届けるという仕事を並行して行うということには多くの困難があったのではと考えられ、感謝の気持ちでいっぱいになった。水道の蛇口をひねれば飲める水が出る、こんなありがたいことはありません。改めて水を大切に使用しなければならないと心に刻んだ。同時に雨水をもっと利用して行こうと思った。

【資源部会 武林禮子】

吹田市片山浄水所を見学させていただき、特に大切だと思ったことは、開設から70年たった水道施設の新設のコンセプトが、災害時対応を重視したこと。淀川からの取水以外では地下水を水源とする片山浄水所はコンパクトながらも重要な位置づけにしていることだった。地下水ならではの鉄分、マンガン除去は、新しい技術(膜ろ過方式)を導入しコンパクトな施設になったこと。地下300mから10本の井戸でくみ上げているが、新規の井戸、水脈を探ることもこれからの水道部としての役割だと熱く語られた。100年先を見ての仕事だと実感。公共のお仕事は効率だけの尺度では計れないものと再認識しました。【資源部会 山口百合子】

すいた食べきり運動



この活動では、公式キャラクター「ペロリンコ」が「お料理はぜんぶ食べ切ろう！」と訴えています。コロナ禍で活動ができなかったのですが、食べきり運動協力店に対して、ポスターやステッカーなどの啓発グッズを貼り替えていただこうと、新しいものをお届けしたところです。HPでお店の情報がみられるよう、頑張ってますのでご期待ください。

【食品ロスPT 水川晶子】

Go Green プロジェクト



日本みどりのプロジェクト
JAPAN GREEN PROJECT



私たち良永ゼミは、今年の4月21日～24日にGo Greenプロジェクトに参加をし、高知県梶原町、四万十町、津野町を訪れました。

初日は、「森を知る」をテーマとして、国立競技場の建築デザインで知られる隈研吾氏による建築物・雲の上の図書館などをはじめ、梶原町内の製材所や木質ペレット工場を見学しました。

二日目は、「森を学ぶ」をテーマとして梶原町内での植樹体験や伐採現場を見学し、四万十町の廃校を活用して宿泊施設で、地域住民の方との意見交換会も実施しました。

最終日は、「森を遊ぶ」というテーマのもと、2つの班に分かれ、1班は四国カルストの高知県立自然公園指定、天狗高原にある自然学習施設・カルストテラスに立ち寄り、その後のフォレストアドベンチャーを体験しました。もう1つの班は、ジビエ体験として、罾にかかった鹿の駆除現場に立ち会い、ジビエ料理も食べる経験をしました。都会から離れ、地方で様々な自然や人に触れ、また様々な視点から考えることで私たちも想像以上に楽しむことができ、SDGsとの繋がりを学ぶことができました。



【関西大学 良永ゼミ】

～良永ゼミ本紹介～

エネルギー班①



『EV シフトの危険な未来 間違いだらけの脱炭素政策』 著者：藤村俊夫
この本では EV 自動車は本当に環境に良いのか？本当に環境に良い車は何なのか？について記載されています。日本ではまだあまり EV 化が進んでいませんが、2035 年から日本でも新車販売は EV のみとされています。この本を読んでぜひ新車を買う際の参考にさせていただきたいです！

エネルギー班②

『水力発電が日本を救う ふくしまチャレンジ編』 著者：竹村公太郎
現在、世の中では化石燃料から再生可能エネルギーへの転換が求められています。その中でも水力発電が最もポテンシャルの高いものとして注目を浴びております。そこで、東日本大震災の経験後に、福島県が日本の再エネ先進県として名乗りを上げ、その取り組みがこの本で紹介されています。再エネ転換が求められる現在、皆さんもこの本を読んで福島県をはじめとする日本の取り組みを理解させていただきたいです。



食班 (フードテック)



『「食」の未来で何が起きているのか？』 著者：石川伸一
私たちが生きていく上で必要不可欠である「食」。年々、増加する世界人口 によって食の生産が追いつかない現在では特にタンパク質源が問題です。最大の供給源である畜産は生産性が高くなく、しかも拡大すれば温室効果ガスの排出を増加してしまう。また、もう一つのタンパク質源の魚に関してはすでに乱獲が始まっており、多くの魚種で資源の枯渇が懸念されている。こうした厳しい状況下でも、世界の人々の胃袋を満たしていかなければならないが、より効率的に食料を生産する必要があります。その切り札として期待されているのが本で紹介されているフードテックなのです。皆様にも一度は読んでもらいたい一冊となっております。

アパレルゴミ班

『グリーンファッション入門—サステナブル社会を形成していくために』

著者：田中めぐみ

私たちアパレルごみ班はグリーンファッション入門という本を読んでいます。この本は服の素材や繊維を作る行程から環境に対する負荷を考えるもので、本当に環境に良い服とは何かを考えさせられます。生産と消費の両面でエシカルな服を考えていきます。



【関西大学 良永ゼミ】

各種募集・イベント案内



◇災害時にも使用可能 じぶん発電所づくり講座（組立講座）◇

再生可能エネルギーの普及のため、ベランダに設置できる大きさの「じぶん専用の発電所」を実際に組立てます。地球温暖化の防止に寄与し、災害時には非常用電源としても活用可能です。地球温暖化防止や防災のために、自宅ですることから始めてみませんか。

- ◆とき／10月1日（土曜日）午後2時～4時
- ◆場所／千里市民センター多目的ルーム（南千里駅から徒歩1分）
- ◆講師／豊中市民エネルギーの会 理事 平田賀彦氏
- ◆定員／10名（定員超過の場合は抽選。結果は9/16にお知らせ。）
- ◆参加費／15,000円（材料費。物価変動のため、多少前後する可能性有）
- ◆申込締切／9月15日（木曜日） ◆主催／アジェンダ21すいた
- ◆申込方法／アジェンダ21すいたホームページの申込フォームよりご登録ください。皆様のご参加をお待ちしております。

（URL／<http://ag21suita.org/?p=2944>）



◇web版環境サポーター講座◇

動画を通して、環境について幅広く学べます。クイズにチャレンジして、一定数正解すると「すいた環境サポーター」として認定され、認定証が授与されます。あなたも「すいた環境サポーター」になりませんか。

- ◆URL／https://www.city.suita.osaka.jp/home/soshiki/div-kankyo/kankyoseisaku/esd/_114263.html
- ◆主催／吹田市 ◆問い合わせ／06-6384-1782（吹田市環境政策室）



アジェンダ21すいた会員募集

アジェンダ21すいたは、持続可能な社会を目指す市民、事業者、行政のパートナーシップ組織です。地球温暖化防止や食品ロス削減をはじめ、様々な取り組みを実践しています。あなたも一緒に活動しませんか。

入会希望の方は、アジェンダ21すいた事務局まで
【アジェンダ21すいた事務局】

〒564-8550

吹田市泉町1-3-40

吹田市役所環境部環境政策室内

TEL 06-6384-1782

FAX 06-6368-9900



アジェンダ21すいたHP

●編集後記

エコレターを作成するのは2回目ですがまだまだ不慣れで苦戦しました。今回、エコレターを作成する上でどのようにしたら吹田市の方々に環境問題に関して、より関心を持っていただけるか悩みました。

エコレターの編集を通してゴミ問題や食問題などの様々な取り組みについて知ることができました。些細な気遣いが環境問題の解決につながることを学びました。どの記事も興味深い内容ばかりで、楽しみながら編集することができました。エコレターの内容を踏まえて、ゼミの研究に全力を注いで頑張りたいと思います。

また、世の中が変化し続ける現在、このエコレターを読んで吹田市の皆様にもより環境問題について理解を深めていただきたいと思います。

エコレターの作成に携わる時間が短くなりつつありますが、今後もわかりやすいように作成していきたいです。

【良永ゼミ 獅々堀、鷺岡、奥村、奥野】